

# 数研 AGORA

▶新学習指導要領 高校公民科現代社会「幸福・正義・公正」をどう教えるか  
／山本雅康……1

▶新学習指導要領における公民科と道徳教育  
／菊池康博……4  
▶世界史の「判別」  
／鈴木正弘……6

No.59

この用紙は、再生紙を使用しています。

## 新学習指導要領 高校公民科現代社会 「幸福・正義・公正」をどう教えるか

奈良学園中学校・高等学校教諭  
山本 雅康

数研出版の教科書『現代社会』及び『高等学校現代社会』では、現代社会の三つの大項目のうち最初の「私たちの生きる社会」において(注1)、生徒たちが主体的に多角的・多面的な学習ができるように、「現代社会の論点」の項を設けている(注2)。この「現代社会の論点」を活用し、生命、情報、環境、資源・エネルギーについて具体的なテーマにもとづいた、「幸福・正義・公正」の授業展開を提案したい。

### 1. 生命をめぐる問題 全3時間(注3)

第1時間目 教科書を用いて生命工学や先端医療技術の概要を把握させる。

第2時間目 以下の指導案のとおり。

#### ■学習活動及び指導上の留意事項

##### 導入(5分)

- ・事前に6～7人で1班を編成、座席配置。
- ・数研教科書「現代社会の論点」を示す。

##### 展開1(10分)

- ・全員にワークシートを配付。
- ・各班に模造紙1枚とマジック1セット配付。
- ・教科書「クローン技術」を例に、ワークシートをもとにした班単位での論議・発表例を示していく。

【板書事項】(後述のワークシートに対応させる)

- A (理由)体細胞クローン羊ドリーの衝撃。  
B (幸福の対立)食料生産や医薬品の製造←→技術の安全性、人間への適用による人間の選別化、道

具化・手段化。(図式化して示す)

- C (正義)他者危害禁止、生命の尊厳、人間の尊厳。  
D (正義と公正)ユネスコ「ヒトゲノムと人権に関する世界宣言」や「クローン技術規制法」により(公正)、クローン人間禁止に賛成(正義)。政府が関連する研究についての指針を策定し(公正)、その指針に従った研究は認める(正義)。(最適・最善の方策を決めていくプロセスを例示)

##### 展開2(30分)

- ・班ごとにワークシートに従って議論し、考えをまとめていく。(巡回し、指導)
- ・次の時間にA～Dについて発表者など役割を分担し、模造紙にわかりやすく整理して各班5分で発表することを徹底。(放課後の時間・場所提供)

##### まとめ(5分)

- ・倫理原則にもとづき調整策・解決策を皆で考え議論すること自体が正義であることを認識させる。

##### ■ワークシート例

- ・個人単位で記入し、提出を求める。
  - ・評価規準【関心・意欲・態度】【思考・判断・表現】。
- A 教科書の記述をもとに班で話し合うテーマを以下のなかから一つ選びなさい。なぜそのテーマを選んだか理由も説明しなさい。
- ア 個々人の遺伝情報解析を進め、遺伝子診断を「身体測定」や「健康診断」に組み込み、社会に普及・定着させていくべきかどうか。

- イ 遺伝子組み換え技術による農産物の生産を日本国内でも認めるか。
- ウ ヒトES細胞・iPS細胞の研究開発で、精子や卵子への分化・不妊治療への応用を認めるか。
- エ 先端医療技術に関して、日本で法律を改正して脳死段階での臓器摘出を強制するかどうか。または、代理出産を法律で認めるかどうか。
- B Aで選んだテーマに関して、個人や集団、社会全体の間で生じる利益(幸福)・不利益の対立や衝突について、具体的に上げわかりやすく図を用いて整理しなさい。
- C Bの対立・衝突に対して、調整や解決をはかっていくために大切なもの(こと)、原則とすべきもの(こと)は何か、班で話し合い、まとめなさい。
- D Bの対立・衝突に対して、Cにもとづき最も適した、または最も善い調整策・解決策を班で話し合いまとめなさい。その調整策・解決策がなぜ最適または最善なのか、その理由や根拠を示すこと。
- E 「科学技術」という表記を見直し、「科学・技術」に言い換えようという動きがある。なぜ、そのような動きがあるのか、科学(Science)と技術(Technology)の関係や違いを班で話し合い、その理由を答えなさい(注4)。
- F 他のグループ発表を評価する。発表ごとに記入。
- ア どのような対立・衝突があるか整理し、わかりやすく説明できていたか。
- 1 2 3 4 5 (5段階で評価)
- イ 対立・衝突に対して、調整や解決をはかっていくうえで大切なものやこと、原則が明確に示されていたか。
- 1 2 3 4 5 (5段階で評価)
- ウ 示された調整・解決策が、誰にとっても公正なものであったか。
- 1 2 3 4 5 (5段階で評価)
- エ あなたは、示された調整・解決策が、「最適」「最善」であるか考えるか。
- 1 2 3 4 5 (5段階で評価)

第3時間目 以下の指導案のとおり。

■学習活動及び指導上の留意事項

導入(5分)

- ・発表とワークシートの記入の確認。

展開(35分)

- ・全部の班の模造紙を黒板に貼り出し、その順に各班5分で発表していく。他の班は、発表ごとにワークシートFのア～エに個人単位で記入。評価規準【関心・意欲・態度】【思考・判断・表現】。

まとめ(10分)

- ・各班が発表した模造紙や手元のワークシートC・Dと対照させながら、教科書の生命倫理の記述を確認していく(注5)。ワークシート提出。

2. 情報をめぐる問題 全3時間のなかで15分

数研教科書「現代社会の論点」を授業に組み入れ、著作権や個人情報の保護について生徒と問答する。

■著作権についての板書・問答例

A (幸福の対立)

制作者 自分の創作物についてのコントロール。

利用者 創作物を活用、文化活動・文化的な生活。

B (正義)人類全体の文化の発展。

C (正義と公正)適切な著作権保護の範囲や期間とは? 「フェアユース」の考え方をどう思うか?

■個人情報についての板書・問答例

A 社会生活で自分の情報をコントロールしたい。

個人情報地域社会や企業の活動に活用したい。

B 基本的人権の保障・民主主義社会の発展。

C 個人情報保護法の規定は適切か?

3. 環境をめぐる問題

全3時間の最後の1時間、または特設の1時間

COP17(2011年)のダーバン合意により、温室効果ガス削減のため、2020年にすべての国が参加する新たな法的枠組みをつくる話し合いが行われていることを確認。数研教科書「現代社会の論点」を用いて、以下の指導案のとおり、パネルディスカッションを行う。【関心・意欲・態度】【思考・判断・表現】。

■学習活動及び指導上の留意事項

導入(5分)パネルディスカッションの進め方確認。

展開1(10分)

- ・事前に「先進国」「新興国(中国やインド)」、「小島嶼国」のそれぞれのスピーカー(3名1組)を決定、準備。持ち時間3分で主張を展開する。

展開2(25分)

- ・教員がコーディネーターをつとめ進行。他の生徒は「環境NGO」または「国連環境計画」の立場でコメンテーターとなり、議論に参加。

## まとめ(10分)

- ・個人単位でワークシートに記入・提出。

## ■ワークシート(振り返りシート)例

- A 主張・議論を整理しなさい。
- B 調整や解決をはかっていくために大切なもの(こと)、原則とすべきもの(こと)は何か。
- C 最も善い調整策・解決策をまとめなさい。
- D Cが公正で最善である理由や根拠を述べよ。

## 4. 資源・エネルギー問題 第3時間目後半10分

数研教科書「現代社会の論点」により問答する。

## ■板書・問答例

- A (幸福の対立)便利・快適などの利益追求の限界。
- B (正義)循環型社会・持続可能な社会の形成。
- C (正義と公正)果たすべき役割や責任は？
- ・地域住民、消費者
  - ・企業
  - ・行政

(注1)指導にあたって以下のような点に留意することが求められる。

- ①新課程中学校社会公民的分野では、身近な事例から、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として「効率と公正(手続の公正と結果の公正)」「対立と合意」について学習している。この学習をふまえ、高校では、生命、情報、環境等の現代の諸課題を通じて、社会の在り方を考察する基盤として、幸福・正義・公正などについて理解させる。
- ②「幸福・正義・公正」については、幸福や正義を個別に取り上げてその内容を理解させるのではなく、現代社会における諸課題をとらえる枠組みとして相互に関連させて扱う。
- ③この科目全体の学習の動機付けとしてふさわしくなるよう留意する。単なる知識の習得に終わらせることなく、諸課題を考察させ、社会的現象に対して客観的で公正な見方や考え方と人間としての在り方生き方についての自覚を深める。
- ④統計等の資料の読解・解釈、学習過程での考察や学習成果についての適切な表現・説明、論述や討論といった言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力の育成を図る。

(注2)数研教科書『現代社会』p.15,25,38,49, 同『高等学校 現代社会』p.13,21,29,37

(注3)数研教科書『現代社会』及び『高等学校 現代社会』は、「私たちの生きる社会」の最初に最も大切な生命を取り上げている。医療系や生命系の大学・学部では、入学試験の際、面接や小論文、討論などで生命をめぐる問題について考えが求められる場合がある。進路実現の観点からも、基本的な知識の学習に加え、言語活動を展開して思考力、判断力、表現力の育成をはかっていきたい。ただし、指導にあたっては生徒の発達段階をふまえた十分な配慮が必要である。出生前診断による人工中絶の問題や尊厳死・安楽死など終末期医療の問題は、特に慎重でなければならない。

(注4)(解答例)科学の成果をもとに技術が発展するが、科学がわからないことをわかろうとする真理の探究であるのに

対し、技術はできないことをできるようにする実用的な手立てである。科学と技術はもともと別のものであり、「・」を入れることでそのことを明確にしようとしている。

(注5)ワークシートB・C・Dの記入・班発表の例

## ア 遺伝子診断

- B (幸福対立)データの蓄積による新薬や治療法の開発の促進。テラーメイド医療の実現。将来の発病予測をふまえての対応が可能。会社の採用時や生命保険加入時に判定が用いられることの問題。出生前診断の問題。
- C (正義)人間の尊厳や基本的人権の尊重、生命の尊厳。
- D 政府や学会による指針などの策定。被検査者や患者の個人情報やプライバシーの保護、インフォームド・コンセント、遺伝カウンセリングの保障(公正)。そのうえで、人の遺伝情報解析の研究を進め、遺伝子診断の精度向上や実用化を進める(原則をふまえて調整策を考える=正義)。

## イ 遺伝子組み換え技術

- B (幸福対立)特許権を持つ大企業。その企業から種や除草剤などを買う農家と買えない農家。伝統的な農業を営む農家。安全性を懸念する消費者。
- C (正義)他者危害禁止。食品の安全性の確保。生態系の保全・影響防止。人類全体での食料問題解決。
- D (正義と公正)(例)特許権を認めるとともにカルタヘナ議定書とカルタヘナ法、食品安全基本法などにより現行のまま制限する。(他例)行政による研究の指針を設けるが、基本的には遺伝子組み換え技術による農産物の栽培を国内で全面的に認める。

## ウ ヒトES細胞・iPS細胞の研究開発

- B (幸福対立)病気の原因究明や創薬。再生医療・不妊治療への貢献。安全性の問題。人体の資源化・道具化、第三者による悪用。ES細胞は受精卵を壊す問題。
- C (正義)他者危害禁止。安全性確保。生命・人間の尊厳。
- D (正義と公正)再生医療についての法律整備。政府や学会による指針の策定。倫理委員会の設置・承認。社会全体での情報の共有。(例)iPS細胞から人の精子や卵子を作り出すことは当分の間、行政の指針により禁止する。

## エ 脳死からの臓器摘出の強制、または、代理出産の容認

- B (幸福対立)(臓器移植)臓器移植を待つ患者。脳死を死と認めないドナーやその家族の負担。伝統的な死生観との対立。(代理出産)子どもを望む夫婦。代理母の身体や精神的な負担。生まれてくる子どもの幸福。誰を法的な親とするかなど社会的な混乱。

- C (正義)ドナーの「究極の善意」。人体の資源化・道具化に対する生命の尊厳、人間の尊厳や人権保障。他者危害禁止。

## D (正義と公正)

(臓器移植例)臓器移植は、ドナーの自己決定や家族の同意を尊重した現在の制度でよい。今後もドナー及びレシピエント、その家族に対するインフォームド・コンセント、社会全体での情報の共有と当事者の個人情報やプライバシーの保護、臓器移植ネットワークの役割がさらに重視されなければならない。

(代理出産例)人体の資源化・道具化・商品化に対する生命の尊厳や人間の尊厳、代理母や子どもの基本的人権の保障の観点から、代理出産は法律を制定して禁止する。